



## あくていぶ21 野間 芳実 議員

### ①施政方針について問う

**質問①** 市長の考える、魅力あるまち、魅力ある鈴鹿市とは。市民との情報共有や対話については。市民参加や住民自治のための制度づくりとは。工業用地の確保は。第二名神高速道路に関連した土地利用の考えは。モータースポーツ振興とF1再誘致の具体的方策は。行政主導のブランド化の計画は。スポーツ施設の整備に対する考え方は。各種事業の民営化と効率的財源配分の見通しは。

**答弁①** 市外の人々が「住みたい」「働きたい」「行って

みたい」と思い、また市内に居住する市民が土地に愛着を持ち、自信を持って外に向かって、「わがまちすずか」を紹介できるようなまちづくりを一緒になって進めたい。情報公開等を充実し、車座懇談会などで「対話」を推進したい。住民自治の仕組みづくりをも検討したい。工業用地は、民間の力と協働し、用地の確保に取り組みたい。パーキングエリアの設置に伴い、地域の意見を反映し積極的な土地利用を図りたい。「サーキットのまち」という都市ブランドを磨き上げF1再誘致につなげたい。ブランドは行政主導ではなく、地域全体が一体となって気運を高めていくと考えている。新スポーツ振興計画の中で、市民ニーズを把握し検討したい。指定管理者制度やPFI手法を導入しているが、今後「市場化テスト法」の推移を見守り研究したい。



## 政友会 大杉 吉包 議員

### ①入札制度の改善について

**質問①(1)** 低価格のみにこだわらない内容重視の総合評価方式の採用は。

**答弁①(1)** 本市では、一般競争入札を拡充、拡大しているが、不良・不適格業者の排除が困難であり、公共工事の品質低下を招く恐れもある。そこで、本年3月に国土交通省が取りまとめた「地方公共団体向け総合評価実施マニュアル」等を参考にしながら、総合評価方式の実施に向けて検討したい。

**質問①(2)** 低入札価格調査制度の実態は。

**答弁①(2)** 予定価格1億円以上の工事に設定しているが総合評価方式では価格と品質を数値化した「評価値」が最も高い業者を落札者とする方法となる。

**質問①(3)** 産業育成と入札制度について。

**答弁①(3)** 入札参加資格の条件で、地元優良業者への発注等があるが、制度上の限界があり、入札・契約の基本原則と産業育成とは相容れない部分もないわけでもない。「産業振興による活力創出」や「鈴鹿ブランドの創出」に全力を傾注し、入札、契約過程の適正化を図ることで健全な産業の育成に努める。



## すずか倶楽部 後藤 光雄 議員

施政方針をうけて

### ①現状の把握と将来像の提示について

- (1)行政のあり方について
- (2)安全、安心な市民生活について
- (3)子ども達へ伝えるものについて

**質問①(1)** 市民の税の負託を受ける行政のあり方としたら、庁舎の夕方、土・日の開庁などの市民の為のあり方が当然だと思うが。

**答弁①(1)** 業務時間外の消防本部の利用等、市民の利便性への改革を順次進めているが、今後も更に利用効果等を検証しながら新たなシステム導入を検討したいと考えている。

**質問②(2)** 4月15日の地震の際の市の対応は、油断があったと反省すべきと思うが、現在までの対応策について報告を問う。

**答弁②(2)** 災害対策本部の組織としての問題点を洗い出し検証を行ったところである。今後の課題は、地域への情報伝達体制の強化であると認識しており、新たな広報マニュアルを作成する予定。

**質問③(3)** 鈴鹿の子ども達に、どんな将来を託すのか、鈴鹿を愛する大人になる為に、どうしていくつもりか。

**答弁③(3)** 子どもは地域の宝であり、本市の将来を担う大切な財産でもある。社会の一員として「人間力」を育てる学力の向上だけでなく、仲間とともに安心して楽しく学べる学校づくりを支援している。